

2023年度 第2回ダイバーシティ就労支援実践研修 募集要項

1. 日時

全4日間

- 第1日 10月30日(月) 10:00～16:00
 - 第2日 10月31日(火) 10:00～16:00
 - 第3日 11月14日(火) 10:00～16:00
- } ※16:10～16:30 グループリフレクション(振り返り)
- 第4日 11月16日(木) 10:00～16:20 ※16:30～18:00 懇親会

※第1～3日は講義終了後、ご希望者でグループリフレクション(振り返り)を行います。

※最終日(第4日)は、懇親会(オンライン・会場ともに)を開催します。

2. 開催方法

○第1～3日オンライン方式

○第4日オンラインと対面(会場)のハイブリッド方式

※会場は、東京・日本財団になります。

<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/access>

○全科目録画配信いたしますのでオンデマンド受講も可能です。

3. 主催・後援

主催：日本財団 後援：厚生労働省

4. 目的

ダイバーシティ就労支援のプロフェッショナルとなるとともに、所属法人のダイバーシティ就労への取組みを促進し、各地域で強力なサポーターになる人材の育成を目的としています。

5. 研修のねらい

本研修を受講することで、以下の基本知識、基本スキルの習得をめざします。

- (1) ダイバーシティ就労支援の基本理念、現行でも活用可能で多様な基本制度・基本施策の基本知識
- (2) 障害者以外の主要な対象者の態様別特性および支援の質を高めるための基本知識、基本スキル
- (3) 公的機関との連携、就職後の支援を進めるうえでの基本知識
- (4) 一般就労、企業実習、中間就労を進めるうえでの基本知識、基本スキル

6. 各科目概要・プログラム

別紙1「ダイバーシティ就労支援実践研修<各科目概要>」及び、別紙2「ダイバーシティ就労支援実践研修<プログラム>」をご参照ください。

※演習2科目(別紙1(P.6～7)第5科目群、別紙2(P.9)第4日)については、研修後、レポートを提出いただきます。後日、レポートの内容についてフィードバックいたします。

※研修後、「基本知識確認テスト」があります。研修終了後、2週間以内にオンラインで回答いただきます。簡易なテストで修了者を限定するねらいはありません。後日、テストの解説動画を配信いたします。

7. 参加対象者

- (1) 障害者以外の者も支援対象者として受入れている（今後受け入れたい）障害者就労支援関係者
- (2) 障害者以外の人々を対象とする事業所、難病患者医療機関
- (3) 自治体の就労支援担当者
- (4) チャレンジスクール（東京都の不登校経験、中途退学者等の生徒が自分の目標を見つけチャレンジする学校）、エンパワメントスクール（大阪府の同趣旨学校）等の教員
- (5) 企業の就労担当者
など。

8. 参加者要件

研修の事前事後、各1回の以下アンケートにご協力いただけること。

- (1) 募集時アンケート
参加申し込みを終えられた方へ順次、ご案内いたします。
- (2) 研修後アンケート
研修最終日にご案内いたします（研修後1週間ほどでご提出をお願いします）。

9. 申し込み

申し込み方法：当法人（一社）ダイバーシティ就労支援機構のホームページよりお申し込みください。
<https://jodes.or.jp/kensyu/>

申し込み受付期間：8月28日（月）～10月17日（火）

※お申し込みの際に第4日（11月16日）をオンライン参加されるか会場参加されるかお知らせください。

10. 受講料

18,000円

【支払い方法】

クレジットカード決済または銀行振込にてお支払いください。

クレジットカード決済：申し込み時点でお支払いが確定します。

銀行振込：申し込み後、1週間以内にお振込みください。

【キャンセル方法】

研修のキャンセルは、研修開始日の10日前（10月20日（金）午後11:59）まで受け付けます。

受講料から手数料1,000円を差し引いた金額を受講者の指定した銀行口座に振り込みます。必ず必要事項を明記の上、研修事務局までメールにてご連絡ください。

- ・メールアドレス：(desk[at]jodes.or.jp *[at]を@に置き換えてください)
- ・必要事項：お申し込み時のメールアドレス、お申込者氏名、お振込先の金融機関名、支店名、預金種別（普通・当座）、口座番号

受講開始日9日前以降のキャンセルは、受講料の全額をご負担ください。

【懇親会会費について】

第4日（11月16日）の会場での懇親会は、主催者（日本財団）が負担し追加負担はありません。

11. 定員

100名

1 2. 修了証の発行

以下の要件をすべて満たした方に、修了証を発行いたします。

- (1) 全科目を受講した方（オンライン・オンデマンドいずれも可）。
- (2) アンケート(研修前・後)および演習レポート（研修後）を提出した方。
- (3) 研修後に実施する「基本知識確認テスト」（研修終了後 2 週間以内にオンラインで回答）で一定の水準を示した方（簡易なテストで、修了者を限定するねらいはありません。）

日本財団 **WORK! DIVERSITY** プロジェクトでは、今後、ダイバーシティ就労支援事業所認定制度の実現をめざしています。今回の研修の修了者には、「ワークダイバーシティ実践研修受講証明書」を日本財団会長名で賦与します。

1 3. 受講者特典

- (1) ダイバーシティ就労支援クラブ※の入会費・今年度の年会費が無料となります。
- (2) 研修当日の録画を期間限定（研修最終日後 1 ヶ月）でご視聴いただけます。

※ダイバーシティ就労支援クラブについて

ダイバーシティ就労支援の趣旨に共鳴する人々の活動の一層の活性化を目指し、以下の活動を行います。

- ・講演会、セミナー情報の提供
- ・交流会の開催
- ・個別相談の提供
- ・事業所ツアー等の各種イベントの開催
- ・その他、会員からの要望をふまえた事業

1 4. 受講規約・免責事項

- (1) 受講者 1 名につき、「1 台の PC（カメラ・マイク付）」をご用意ください。
- (2) 受講する場所において、インターネットの通信環境が良好であることをご確認ください。（有線 LAN 推奨）
- (3) 事前に各自の端末から下記 URL にアクセスし、Zoom アプリのインストールをお願いします。
(<https://zoom.us/download>) アプリを使用する際には、必ずバージョンを確認し、最新版であることをご確認ください。PC のアプリ以外（仮想デスクトップやスマートフォン）での参加では、一部使用機能が制限される場合があります。
- (4) 事前に受講用 PC のカメラ・マイク・スピーカーが使用できることを下記サイトにてご確認ください。(<https://zoom.us/test>)
- (5) インターネットの接続機器とその通信料金は受講者様負担となります。
- (6) パソコンの画面を複数人で共有し、受講することはご遠慮ください。なお、講座の録音・録画は禁止させていただきます。

問い合わせ先

ダイバーシティ就労支援実践研修事務局
一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構

TEL:03-5256-2250

メール:desk[at]jodes.or.jp
*[at]を@に置き換えてください

2023年度 第2回ダイバーシティ就労支援実践研修
<各科目概要>

別紙 1

第1科目群（総論・政策制度の理解）

【受講者への期待】

ダイバーシティ就労支援の基本理念、関連する活用可能で多様な基本制度・基本施策を習得する。

講義 1	「働く」とは何か 清家篤 日本赤十字社社長（慶應義塾学事顧問）
科目設定のねらい	現在の日本社会において働くことの重要性は何か、を理解する。
講義 2	地域共生社会の理念と WORK! DIVERSITY プロジェクト 樽見英樹 日本年金機構副理事長、元厚生労働事務次官
科目設定のねらい	ダイバーシティ就労支援の多様な意味、必要となった背景を、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながる地域共生社会づくりの考え方と絡め理解する。
講義 3	本研修のまとめとダイバーシティ就労支援の展望 朝日雅也 埼玉県立大学名誉教授
科目設定のねらい	ダイバーシティ就労支援は、今後の日本社会の重要なセーフティネットであることを深く認識し、受講者に WORK! DIVERSITY プロジェクトのサポーターとなってもらう。
講義 4	就労支援制度の理解 1（生困・生活保護・重層的支援体制整備） 鈴木由美 厚生労働省地域福祉課就労支援専門官
科目設定のねらい	就労支援に関連する生活困窮者、生活保護関係の諸制度・施策のポイントを習得する。
講義 5	就労支援制度の理解 2（雇用訓練制度（若者サポートステーション含む）） 志村幸久（独法）労働政策研究・研修機構総務担当理事
科目設定のねらい	ダイバーシティ就労支援に活かすことを目的に、若者サポートステーション、求職者支援制度、氷河期世代支援策、キャリアコンサルティング、公共職業訓練等に関する施策のポイントを習得する。

第2科目群（態様別理解）

【受講者への期待】

障害者以外の主要な対象者の態様別特性を理解するとともに、効果的な支援のポイントを習得する。

講義 6	態様別理解 1（ひきこもり） 伊藤正俊 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会顧問 佐藤洋作 認定 NPO 法人文化学習協同ネットワーク代表理事
科目設定のねらい	ひきこもる背景と当事者・家族の思いを理解し、就労支援上の課題と対処法を学ぶ。特に、ひきこもり者への対応は就労支援前のアウトリーチ的対応が特に重要であり、ステップを踏んだ対応が必要であること、他方でステップを踏めば就労につながる人が多い

	ことを習得する。
講義 7	態様別理解 2 (LGBTQ) 薬師実芳 認定 NPO 法人 ReBit 代表理事
科目設定のねらい	LGBTQ の基本概念と就労における現状を認識し、LGBTQ の人々の就労上の課題と対応方法の基本を習得する。
講義 8	態様別理解 3 (難病) 辻邦夫 (一社) 日本難病・疾病団体協議会常務理事 川尻洋美 群馬大学医学部附属病院難病相談支援センター 難病相談支援員 (保健師・認定難病看護師)
科目設定のねらい	治療を続けながら就労を希望する難病患者の増加と、障害者の認定外でありながら就労困難性を有する現状を認識し、支援ニーズを踏まえた支援の基本を習得する。
講義 9	態様別理解 4 (刑務所出所者等) 三宅晶子 (株) ヒューマン・コメディ代表
科目設定のねらい	刑務所出所者等の方々の背景や就労の現状・課題を認識し、当事者意識をもつ。
講義 10	態様別理解 5 (高齢者等ケア付き就労) 滝脇憲 NPO 法人自立支援センターふるさとの会代表理事
科目設定のねらい	支援(ケア)を受けながらの就労が必要な高齢者が増加している。こうした者に対する支援を行う上でのポイント、留意点を習得する。

第 3 科目群 (就労困難者のニーズ把握等)

【受講者への期待】

就労困難者のニーズ把握、就労意欲向上方策、関係機関との連携について、基本知識を習得する。

講義 11	ハローワーク等の公的支援機関、自治体、社会福祉協議会等との連携 春名由一郎 (独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター副統括研究員
科目設定のねらい	ダイバーシティ就労支援を進める上で重要な公的支援機関の役割と活動の実態を理解し、主要な公的支援機関と連携するために必要な知識を習得する。
講義 12	地域企業との連携 (地域企業への就職、実地研修を推進する方策) 藤尾健二 千葉県障害者就業・生活支援センター長
科目設定のねらい	地域の企業との連携を進めるうえでの基本的ノウハウを習得する。
講義 13	多様な就労困難者の就労可能性を広げるアセスメントと支援の世界の動向 春名由一郎 (独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター副統括研究員
科目設定のねらい	幅広い就労困難者や生活困窮者等の就労可能性を広げ、誰もが職業で活躍できるためのアセスメントや支援の原則を、世界の障害者就労支援の最新知見から習得する。
講義 14	就労困難者の就労意欲向上方策 櫛部武俊 (一社) 釧路社会的企業創造協議会代表理事
科目設定のねらい	生活保護受給、ひきこもりの人々を就労に導くために、様々な形で「やってみる」機会の提供、スモールステップで利用者の自尊感情を高めることを重視する「釧路モデル」を

	学び、就労困難者の就労意欲の向上を図る。
講義 15	ジョブコーチ的視点からのダイバーシティ就労支援 若尾勝己 NPO 法人東松山障害者就労支援センター代表理事
科目設定のねらい	障害者以外の多様な就労支援が必要な方々に対するジョブコーチ的な支援の必要性和そのポイントを習得する。

第4科目群 (取り組み・実践)

【受講者への期待】 ダイバーシティ就労に取り組む具体的実践事例に学ぶ。

講義 16	自治体が行う連携のポイント 林星一 座間市福祉部参事
科目設定のねらい	ダイバーシティ就労支援の前提となる自治体内各課および自治体間（都道府県と市町村、市町村間）の連携の重要性を理解し、そのポイント、留意点を習得する。
講義 17	地域でのインクルージョン及びソーシャルファームへの取り組み 中崎ひとみ（社福）共生シンフォニー理事長
科目設定のねらい	地域でのインクルージョンの推進、ソーシャルファーム（ダイバーシティ就労）への取組みに当たってのポイント、留意点を習得する。
講義 18	千葉県におけるダイバーシティ就労への取り組み 池田徹 NPO 法人ユニバーサル就労ネットワークちば理事長
科目設定のねらい	「誰でも共通に就労機会が得られるべきであることを理念とするユニバーサル就労」から、それを発展し、「個別の利用者に応じた多様な対応を強調するダイバーシティ就労」の流れを踏まえたダイバーシティ就労支援の意義を理解する。
講義 19	モデル事業の実践からダイバーシティ就労の今後を考える ※パネルディスカッション 【座長】村木太郎 元厚生労働省総括審議官、就労継続支援 A 型事業所全国協議会理事 西岡正次 A ⁺ ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）副館長・就労支援室長 モデル事業4 地域マネジメントセンター統括責任者 （豊田市）栗本浩一（一社）ワーク・ダイバーシティ・スタイル代表理事 （岐阜市）後藤千絵（一社）サステイナブル・サポート代表理事 （千葉県）島田将太 NPO 法人ユニバーサル就労ネットワークちば事務局長 （福岡県）中村信二 福岡県就労支援協同組合理事長
科目設定のねらい	障害者就労支援機関のダイバーシティ就労への実験的取組み過程で見られる光と影を率直に表に出していただき、WORK! DIVERSITY プロジェクトの目指す方向を改めて再確認する。

第5科目群 (演習)

【受講者への期待】

アセスメント、就労支援プログラムづくりを模擬的に体験、経験、練習することで、アセスメント、就労支援プログラムの重要性を実感する。

<p style="text-align: center;">演習 1</p>	<p>アセスメント支援 高橋尚子 (一社) 京都自立就労サポートセンター理事 鈴木由美 厚生労働省地域福祉課就労支援専門官</p>
<p>科目設定のねらい</p>	<p>就労支援におけるアセスメントの重要性を理解し、体感する。</p>
<p style="text-align: center;">演習 2</p>	<p>就労体験や職業訓練を利用した就労支援プログラムの作成 西岡正次 A¹ワーク創造館 (大阪地域職業訓練センター) 副館長・就労支援室長、 田中勝則 同館 就労支援事業部長</p>
<p>科目設定のねらい</p>	<p>仕事・働く場の情報をもとに体験や訓練付き就労のプログラム、職業訓練を活用する支援プログラム作成について基本知識を提供する。</p>

2023 年度 第 2 回ダイバーシティ就労支援実践研修
 <プログラム>

1 日目 (10 月 30 日 (月))	
10:00~10:10	開講あいさつ 竹村利通 日本財団シニアオフィサー
10:10~11:10	1. 地域共生社会の理念と WORK! DIVERSITY プロジェクト 樽見英樹 日本年金機構副理事長、元厚生労働事務次官
11:20~12:10 【選択科目】 ※いずれかの講義を 選択	2. 就労支援制度の理解 1 (生困・生活保護・重層的支援体制整備) 鈴木由美 厚生労働省地域福祉課就労支援専門官
	3. 就労支援制度の理解 2 (雇用訓練制度 (若者サポートステーション含む)) 志村幸久 (独法) 労働政策研究・研修機構総務担当理事
12:10~13:00	昼休み
13:00~13:50	4. ハローワーク等の公的支援機関、自治体、社会福祉協議会等との連携 春名由一郎 (独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター副統括 研究員
14:00~15:00 【選択科目】 ※いずれかの講義を 選択	5. 地域企業との連携 (地域企業への就職、実地研修を推進する方策) 藤尾健二 千葉県障害者就業・生活支援センター長
	6. 自治体が行う連携のポイント 林星一 座間市福祉部参事
15:10~16:00	7. 地域でのインクルージョン及びソーシャルファームへの取り組み 中崎ひとみ (社福) 共生シンフォニー理事長
16:10~16:30	グループリフレクション (振り返り) ※ZOOM ブレイクアウトルームで実施 (5 名程度のグループ)
2 日目 (10 月 31 日 (火))	
10:00~11:00	1. 態様別理解 1 (ひきこもり) 伊藤正俊 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会顧問 佐藤洋作 認定 NPO 法人文化学習協同ネットワーク代表理事
11:10~12:00	2. 態様別理解 2 (LGBTQ) 薬師実芳 認定 NPO 法人 ReBit 代表理事
12:00~13:00	昼休み
13:00~14:00	3. 態様別理解 3 (難病) 辻邦夫 (一社) 日本難病・疾病団体協議会常務理事 川尻洋美 群馬大学医学部附属病院難病相談支援センター 難病相談支援員 (保健師・ 認定難病看護師)
14:10~15:00	4. 態様別理解 4 (刑務所出所者等) 三宅晶子 (株) ヒューマン・コメディ代表
15:10~16:00	5. 態様別理解 5 (高齢者等ケア付き就労) 滝脇憲 NPO 法人自立支援センターふるさとの会代表理事

16:10～16:30	グループプリフレクション
-------------	--------------

3日目 (11月14日 (火))	
-------------------------	--

10:00～11:00	1. 就労困難者の勤労意欲向上方策 櫛部武俊 (一社) 釧路社会的企業創造協議会代表理事
11:10～12:10 【選択科目】 ※いずれかの講義を 選択	2. 多様な就労困難者の就労可能性を広げるアセスメントと支援の世界の動向 春名由一郎 (独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター副統括研究員
12:10～13:00	3. ジョブコーチ的視点からのダイバーシティ就労支援 若尾勝己 NPO 法人東松山障害者就労支援センター代表理事
13:00～13:30	4. 「働く」とは何か 清家篤 日本赤十字社社長 (慶應義塾学事顧問)
13:30～14:20	5. 千葉県におけるダイバーシティ就労への取り組み 池田徹 NPO 法人ユニバーサル就労ネットワークちば理事長
14:30～16:00	6. モデル事業の実践からダイバーシティ就労の今後を考える ※パネルディスカッション 【座長】 村木太郎 元厚生労働省総括審議官、就労継続支援 A 型事業所全国協議会理事 【パネリスト】 西岡正次 A ⁺ ワーク創造館 (大阪地域職業訓練センター) 副館長・就労支援室長 モデル事業 4 地域マネジメントセンター統括責任者 (豊田市) 栗本浩一 (一社) ワーク・ダイバーシティ・スタイル代表理事 (岐阜市) 後藤千絵 (一社) サステイナブル・サポート代表理事 (千葉県) 島田将太 NPO 法人ユニバーサル就労ネットワークちば事務局長 (福岡県) 中村信二 福岡県就労支援協同組合理事長
16:10～16:30	グループプリフレクション

4日目 (11月16日 (木))	
-------------------------	--

10:00～12:00	1. アセスメント支援 (演習 1) 高橋尚子 (一社) 京都自立就労サポートセンター理事 鈴木由美 厚生労働省地域福祉課就労支援専門官
12:00～13:00	昼休み
13:00～15:00	2. 就労体験や職業訓練を利用した就労支援プログラムの作成 (演習 2) 西岡正次 A ⁺ ワーク創造館 (大阪地域職業訓練センター) 副館長・就労支援室長 田中勝則 同館 就労支援事業部長
15:10～16:10	3. 本研修のまとめとダイバーシティ就労支援の展望 朝日雅也 埼玉県立大学名誉教授
16:10～16:20	閉会あいさつ 吉倉和宏 日本財団常務理事
16:30～18:00	懇親会 ※会場、オンラインそれぞれ実施